

# 放課後等デイサービス評価 公表

NPO法人レスパイトケアはちもり 児童クラブあさひ

指定:平成27年7月 定員:10名

評価実施期間: H30.11.20~H30.12.3

実施方法: 職員による自己評価を実施したものを職員会議にて集約

集約者: 児童発達支援責任者 林わか菜

## I. 自己評価

		項目	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	広すぎず狭すぎず丁度いいと思います。個室など安全を確保できるスペースがあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	職員数は適切であります。同性同士での支援が難しい時があるため意識した支援の改善が必要。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	トイレ、廊下などに手すりがあったりスロープを作り段差をなくすなどの配慮がされている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参加しているか	会議の場をつくり話し合いの場を増やし、職員間での情報共有を大切にしています。話し合いの時間をもっと増やせたら尚良いです。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	アンケートの実施をもとに、寄せられた意見を今後の業務に活かしていきます。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	アンケートを事業所のホームページにて公開するようになっています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	保護者からのアンケートを行い、それに応えていきたいと思っています。外部からの見学の受け入れも行き、意見や助言などを頂いています。

	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	参加したい研修があれば積極的に参加をして支援に生かしています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	その都度アセスメントをとり児発管や職員で話し合うようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	職員で情報共有を行い支援につなげています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	みんなで話し合っていました。週でローテーションにするなど工夫していく。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	四季に合ったものを活動に取り入れています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を含め細やかに設定して支援しているか	ひとりひとりにあった支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どもによって行っているがまだ個別が多い現状です。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	その日に毎日とは出来ていないですが学校の送迎時などの特記事項をみんなで話し合い支援に活かすようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	その日のうちに打ち合わせをするのは送迎もあるため難しいです。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	ひとりひとりのノートと事業所用とで記録を行っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	必要があれば時期でなくても変更しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	様々な総則を組み合わせさせて支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	児童発達支援責任者が基本参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	受け渡し時やその時以外でもコミュニケーションを取り情報共有を行い支援をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要なお子さんは現在までに受け入れはありませんが、今後そうなった場合に連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学前の所とはほとんど情報共有が出来ていないので改善していきたい。
	24	放課後等デイサービスから福祉サービスに移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	移行支援会議に参加をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	支援会議等で助言を頂くことはありますが研修は検討していきたいです
	26	放課後児童クラブや児童館との連携や、障害のない子どもと活動する機会があるか	なかなかできていないですが機会があれば交流できたらと思います。
	27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	法人として参加しています。

	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	それぞれのノートでのやり取りや送迎時で口頭で話す時間を作っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	何か困ったことがあれば相談や助言に乗れるようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	基本的には、児童発達管理責任者が参加しています。必要に応じて、他の支援員が同席することもあります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	ノートや送迎時などに話す時間をつくるようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者が集まる機会がないので検討したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情マニュアルの作成、苦情窓口の設置をし対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的に児童クラブあさひの様子などをおたよりにして発行しています。新しいリーフレットの作成をしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	職員に徹底し、管理も事務所等でするなど気をつけています。
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	障がいに応じて、その特性に合った方法を用いるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所としては不是ですが、法人として施設の行事に来ていただいています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	作成して職員がいつでも確認出来るよう、事業所にファイリングして保管しています。保護者に資料の配布をしたり、事業所での張り出しをしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に危険、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回、防火管理者が企画し、消防署に届け出・立ち合いのもと、避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	県の虐待防止研修への参加をし、改めて職員で事業所内で研修をしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現在まで身体拘束を行ったことはないが行う場合は必ず行うようにしたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	家庭や医療機関と連携し、確認しながら対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	責任者会議で共有をし、職員への周知をしています。

<b>II. 保護者等へのアンケート</b>						評価実施期間： H30.11.20～H30.12.3 実施方法： 配布→手渡し、送付配布 回収→無記名事業所宛て 回収数/配布数： 10 / 16	
	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見		
環境・体制整	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100.0%				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	70.0%	20.0%		・男性職員が少なく残念です。高等部ともなると体も大人と同じ、力も強く女性だと心配です。	

準備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100.0%			
	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100.0%			
適切な支援の提供	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	60.0%	30.0%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	30.0%	60.0%		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	90.0%	10.0%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもノートに子どもの様子を丁寧に書いて下さってありがとうございます。</li> <li>・送迎時一日の様子を伝えて頂きありがたい。ノートにも細かく書かれている。</li> </ul>
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	70.0%	20.0%		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20.0%	30.0%	30.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内では少し出来ているが事業所ではなかなかお話する機会がない。</li> <li>・仕事など忙しいので機会がなく交流できない。送迎して頂いているので会う事もなく過ごしています。</li> </ul>
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60.0%	30.0%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に事業所内でどのような対応がとられるか分かれると安心できる。</li> </ul>
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90.0%	10.0%		

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	90.0%	10.0%		
	14	個人情報に十分注意しているか	100.0%			
非常時の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30.0%	30.0%	20.0%	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	40.0%	30.0%	20.0%	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	90.0%	10.0%		
	18	事業所の支援に満足しているか	100.0%			・子どもに対して熱心に接して頂き本当に助かっています。

### Ⅲ. 総評

児童クラブすがの同様、昨年に続き2回目の自己評価ならびに保護者等へのアンケートの実施になりました。自己評価では自分たちの日々の支援や事業運営の振り返りができ、改めて今後の課題や必要な支援等が見えてきました。保護者等へのアンケートでは保護者のみなさまの率直なご意見をいただく事ができました。問1、問3、問4、問7、問14、問18では、ご回答頂いた全てのみなさまから「はい」とのご回答をいただきました。またその他のご回答でも「はい」と回答していただいている方が多い結果となりました。前回に比べ、多くの方からのご支持をいただきまして事業所や職員にとっても、大変嬉しい事です。一方で、事業所内での保護者同士での交流の機会がない事や非常時等の事業所での対応の様子などが分からない、などの不透明さや周知不足も見て取れました。今後は事業所として、頂いたご意見を参考に、偏りのない透明な事業所を心掛けた支援を続けていきたいと思ひます。

今回、アンケートにご協力頂いた保護者の皆様に心から感謝致します。本当にありがとうございました。